



初夏の吾妻山を満喫

吾妻山山開き・6/2

No.6

第49回吾妻山山開きが比和町の吾妻山池ノ原で開催され、県内外からの登山客をはじめとした約1,500人が訪れました。

比婆道後帝釈国定公園に指定されている吾妻山は、標高が1,239メートル、同町の最北端の島根県境にあります。この山名は、イザナミノミコトが比婆山に眠る妻イザナミノミコトを、山頂で「ああ、吾が妻よ！」と追慕したことが由来とされています。

地元団体主催の凧揚げ大会やバザーなど、子どもから大人まで楽しめる催しのほか、比和自然科学博物館による草花ウォッチングも同時開催され、来場者は美しい新緑が広がる吾妻山で、楽しい一日を過ごしました。



▲バザーを楽しむ登山客

交通事故のない地域をめざして

交通安全テント村・5/14

No.5

春の全国交通安全運動の一環として、口和町永田で交通安全テント村が開催されました。

口南小学校の児童と口和町交通安全対策協議会のメンバーが、児童が作った交通安全標語集と交通安全マスコットが入った封筒を通行するドライバーに手渡し、交通安全を呼び掛けました。高齢ドライバーによる事故の報道が続く中、「悲惨な事故が起こらないように」と思いを込めて、ドライバー一人一人に声を掛けていました。

ドライバーは「いつ事故が起きるか分からない。気を付けてハンドルを握らないといけない」と話していました。



▲テント村の様子

自転車事故を防ぐために

交通安全教室・5/13、21、28、6/10

No.2

東城町内の小学校で、交通安全教室が行われました。児童が自転車を安全に利用できるようになるために、東城交番と小奴可駐在所の警察官が指導しました。

児童が自転車を所持し「ぶたはしゃべる」の合言葉の順に、ブレーキ、タイヤ、反射板、車体、ベルの点検をしたほか、信号機などが設置されたグラウンドを実際に走りながら、交差点の渡り方や道路標識、安全な走り方などを学習しました。

また、小奴可小学校と粟田小学校で開催された交通安全教室には、近隣のこども園、保育園の園児も参加しました。横断歩道の渡り方などを小学校児童と一緒に学習し、熱心に練習していました。



▲交差点の渡り方を学習

田植えに挑戦

総領保育所 田植え・5/7

No.1

総領町下領家の田んぼで、総領保育所の園児20人が田植え体験をしました。園児と地域住民の世代間交流の場として毎年行われている取り組みで、秋には稲刈り体験や収穫祭も行われる予定です。

昨年は雨で中止になりましたが、今年は晴天に恵まれ、手植えを体験した園児からは「みんなドロドロ!」「冷たくて気持ちいい!」と楽しそうな声が聞こえてきました。年少組園児は応援団になり「頑張れ～」と元気の声援を送っていました。

総領保育所秋山所長は「まわりつく泥が独特な感触で、涙を流す園児もいましたが、上手に植えることができました」と話していました。



▲田植えをする園児たち

交通ルールを守って安全に

高齢者交通安全講習会・6/19

No.8

ウイル西城のウイルホールで、高齢者交通安全講習会が行われ、約150人が参加しました。

西城地区が高齢者交通安全モデル地区に選ばれたことに伴う講習会で、西城地区老人クラブ連合会が、住民主体の交通安全活動を促進することを目的に開催しました。

庄原市の交通事故発生状況、バック駐車の重要性、早めのライト点灯や上向きライトの活用などについての講習がありました。また、広島県警察音楽隊による演奏が行われ、参加者は数々の名曲に聴き入りました。

西城地区老人クラブ連合会伊達栄之会長は「交通事故は人生の歯車を狂わせる。交通ルールとマナーを遵守し、交通安全に努めてほしい」と話していました。



▲伊達会長の挨拶の様子

みんなできれいに

小中合同クリーン大作戦・5/30

No.7

高野小学校と高野中学校の合同行事「クリーン大作戦」が、高野町内4カ所で行われました。

この行事は、児童と生徒と一緒に活動することで交流を深めることや、日頃お世話になっている地域の人に感謝の気持ちを伝えることなどを目的に毎年行われています。

最初に、各グループのリーダー役である中学3年生がスケジュールを説明し、全員が自己紹介をした後、草取りやごみ拾いを開始。初めは緊張していた児童生徒も、作業を進めるうちに打ち解けて終わる頃にはみんな笑顔になっていました。

閉会式で中学校生徒は「きれいになって気持ちがいい。これからも毎年続けていこう」と話していました。



▲暑さに負けず地域貢献

3市町で共に応援しよう

庄原市・由宇町・日南市で特産品販売・6/7

No.4

庄原市カーブ応援隊は、広島東洋カーブを通じて交流を深めている宮崎県日南市、山口県岩国市由宇町と、マツダスタジアムで毎年恒例となっている3地区合同特産品販売を行いました。

それぞれ自慢の特産品を持ち寄り、庄原市は庄原焼きや煮込みこんにゃく、アップルパイ、スムージーなどを販売しました。また、庄原市P Rロゴマークキャラクター「ヒバゴン」と日南市、岩国市由宇町のご当地キャラクターが応援に駆けつけ、試合とともに会場を熱く盛り上げました。

来場者からは「3市町の特産品販売を楽しみにしている」という声や、ヒバゴンを見かけて「久しぶり」「かわいい」と喜びの声がたくさん聞こえてきました。



▲会場は試合とともに盛り上がりを見せた

収穫を楽しみに

中学校・保育所交流 さつま芋の苗植え・6/6

No.3

西城保育所近くの畑で、さつま芋の苗植え交流会が行われ、西城中学校1年生26人と西城保育所園児26人が参加しました。異なる世代との触れ合いや、関わり方の工夫を学ぶとともに、保育と教育のつながりを作ることを目的に開催されています。

中学生と園児は、保育所から芋畑まで手をつないで移動し、JA庄原の職員に苗の植え方を教わりながら、約150本の苗を植えました。

参加した中学生は「これまで小さな子どもと触れ合うことがなかったので、分かりやすい話し方を心掛けた」「普段できない新鮮な交流ができた」「上手に植えられたことを褒めると喜んでくれてうれしかった」と話していました。



▲協力して苗を植えている様子